平成30年度 評価アンケート集計

評価基準 1「そう思う。十分できている。」 2「どちらかといえばそう思う。努力できている。」 3「どちらかといえばそう思わない。やや不十分である。」 4「そう思わない。努力不足である。」 5「判断できない。分からない。」

【保護者評価集計】

分野	No	評価項目	評価(1+2)
地域の期待	1	学校教育目標・教育内容が、生徒の実態や地域の期待を踏まえたものになっている。	78%
	2	これからの地域や社会を担うことができる人材を育てる教育活動を行っている。	74%
授業改善	3	分かりやすい授業・生徒の意欲を高める授業のための工夫や授業改善が行われている。	57%
	4	授業・学習指導を通して、生徒の能力を十分に引き出すことができている。	55%
生活指導	5	基本的な生活習慣(身だしなみ・時間のけじめ等)に関する指導が行われ、その成果が現れている。	87%
	6	生徒の健康指導や交通安全など、安全指導が適切に行われている。	85%
	7	いじめや暴力等の問題に毅然と対応し、安心して生活できる学校作り努力している。	76%
	8	いじめ防止に向けた学校の方針を生徒・保護者にしっかりと示している。	64%
進路指導	9	生徒会活動や部活動など、生徒の自主的な活動に関する指導が適切に行われている。	78%
	10	生徒の職業観育成や将来への具体的な目標設定のために役立つ進路指導が行われている。	67%
	11	生徒の実態や進路希望にあった進路実績を残すことができている。	66%
情報提供	12	保護者に対して、通信やプリント等を通して、学校の様子や情報提供などが十分にできている。	76%
PTA	13	PTA活動は熱心に取り組まれている。	77%
連携	14	保護者や地域の意見や要望を取り入れ、連携した教育活動が進められている。	60%
広報活動	15	地域や一般の方々に対する学校の広報活動が十分に行われている。	58%
施設設備	16	施設・設備は教育活動をするのに十分であり、整備が行き届いている。	55%
実感	17	お子さんを本校に入学させて良かったと思えますか。	79%
生徒の様子について	18	稲雲生は、熱心に学習に取り組み、学力を伸ばしている。	70%
	19	稲雲生は、身だしなみ生活マナーなどが身についている。	89%
	20	稲雲生は、部活動や各種行事などに熱心に取り組んでいる。	89%

【教職員評価集計】

分掌	No	評価項目	評価(1+2)
総務部	1	他分掌との十分な連携が図られたか。	64%
	2	教育環境の整備・補充は十分におこなわれたか。	52%
	3	学校行事等の実施が円滑におこなわれたか。	73%
	4	中学生・保護者、地域に向けての学校紹介が十分におこなわれたか。	82%
	5	PTA活動への協力が円滑におこなわれたか。	79%
教務部	6	授業を改善・工夫するための環境を設定できたか。	24%
	7	教務内規を的確に運営するとともに課題を明らかにし、その改善を図ったか。	42%
	8	カリキュラムについての共通理解ができたか。	46%
	9	教務関係諸作業が円滑に行えたか。	70%
生徒指導部	10	男子の身だしなみ(ボタン・ヤンシャツ等)が日常的に適切に指導がなされたか。	38%
	11	女子の身だしなみ(スカート丈・指定カーディガンのボタン等)が日常的に適切に指導がなされたか。	36%
	12	ケータイの持ち込みルールについて、日常的に適切に指導がなされたか。	58%
	13	生徒指導における職員の共通認識がなされ、学年・クラス間の傾斜なく実施されていたか。	33%
進路指導部	14	指導部がクラスや学年に対して、適切な支援や協力ができているか。	27%
	15	進路シラバスに基づき、先を見据えた進路指導を行うことができたか。	56%
	16	進路通信を通して、生徒への適切な情報提供をすることができたか。	39%
	17	進路学習や進路集会を通して、生徒の進路意識を育成することができたか。	55%
	18	各分掌や学年との連携を十分にとり、年度計画を組織的に実施することができたか。	64%
19	各学年の進路係が適宜模試分析を行い、講習計画に適切に反映することができたか。	52%	

分掌	No	評価項目	評価(1+2)
生徒会部	20	生徒会の活動が全校生徒・教職員の視野に入ったか。	21%
	21	学校祭は計画・実行・反省が十分にされたか。	24%
	22	生徒会執行部員の育成はできたか。	21%
	23	ボランティア活動に対する積極的な参加姿勢が育成されたか。	33%
	24	来年度以降の生徒会費・予算の検討は十分になされたか。	24%
保健安全部	25	健康診断、健康調査、保健便りを通して、生徒自ら健康な生活を営むよう工夫させることができたか。	70%
	26	清掃活動を通じて、生活環境の美化、整理整頓に努める心を育むことができたか。	64%
	27	教育相談活動の充実を図ると共に、担任、学年、分掌との連携を促進することができたか。	79%
	28	災害に備え、速やかに対応できる姿勢を身につけさせることができたか。	55%
情報教育部	29	各主管分掌・学年との連携が図られた、業務内容の精選ができたか。	61%
	30	各種機器の更新、メンテナンス、サポートがスムーズにできたか。	67%
	31	情報セキュリティの維持・管理が的確になされていたか。	73%
	32	資産管理システムを機能させられたか。	58%

分掌	No	評価項目	評価(1+2)
第一学年	33	稲雲高校生としての基本的な生活習慣を身に付けることができたか。	52%
	34	積極的に考える習慣や家庭学習習慣を確立することができたか。	32%
	35	思考力を養い、学力を向上させる授業を行うことができたか。	45%
	36	共通理解・実践と協働により、信頼関係の構築や傾斜のない指導ができたか。	45%
第二学年	37	自ら考え積極的に挑戦する生徒が増加しているか。	27%
	38	進路の方向性を探究し自己決定する力を育成できたか。	33%
	39	英語における学力が向上しているか。	18%
	40	家庭学習が自主的な学習へ変化しているか。	24%
第三学年	41	行動に責任を持ち、他者を尊重し協力できる態度を育成できたか。	24%
	42	部活動・ボランティア活動・学校行事にも意欲的にも取り組む活力ある生徒が育っているか。	36%
	43	日常生活の中で、服装や礼儀など高校生としてふさわしい生活態度を身につけさせることができたか。	39%
	44	意欲的に授業に参加し、積極的に課題に取り組む姿勢を身につけさせることができたか。	40%
	45	進路資料を活用し、計画的な面談を通して生徒の適性に応じた進路指導ができたか。	70%
	46	各種講習会・模擬試験への参加を促し、進路目標の達成に効果を上げることができたか。	63%
	47	諸活動を通して、社会とのつながりや集団の一員としての役割を自覚させることができたか。	55%